

# ABSTRACT ATTACHED

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-19858

(P2002-19858A)

(43) 公開日 平成14年1月23日 (2002.1.23)

(51) Int.Cl.

識別記号

F I

ターム(参考)

B 6 5 D 83/08

B 6 5 D 83/08

D 3 E 0 1 4

A 4 7 K 7/00

A 4 7 K 7/00

C

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2000-209715(P2000-209715)

(22) 出願日 平成12年7月11日(2000.7.11)

(71) 出願人 592163789

大一紙工株式会社

静岡県富士市大淵2848番地の6

(72) 発明者 馬飼野 一吉

静岡県富士市大淵2848-6 大一紙工株式会社内

(74) 代理人 100082669

弁理士 福田 賢三 (外2名)

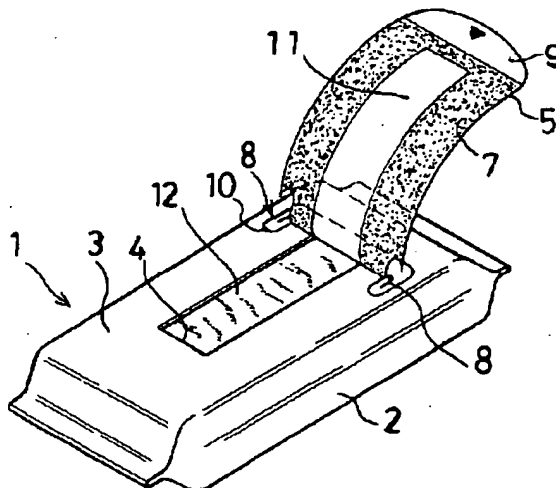
Fターム(参考) 3E014 LD02

(54) 【発明の名称】 ウエットティッシュ用包装体

(57) 【要約】

【課題】 包装基体の上面部に形成する取り出し口を、樹脂フィルムの指向性に基づいて形成するようにした。

【解決手段】 合成樹脂製のフィルム材で成形される液密、気密なウエットティッシュ用の包装体1であって、前記包装体1の包装基体2の上面部3に構成する開閉可能な取り出し口6を、前記上面部3に一端を止着して剥離停止部8を設けた開閉蓋片5と、前記開閉蓋片5の自由端の近傍に位置させて上面部に形成した切り込み部4とにより構成し、前記開閉蓋片5を自由端から剥離して前記切り込み部4の左右端部と前記剥離停止部8との間を、前記合成樹脂製のフィルム材が有する指向性により直線状に切断して取り出し口6を開放するように構成し、剥離する開閉蓋片5を剥離停止部8で止めるようにしたことを特徴とする。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 合成樹脂製のフィルム材で成形される液密、気密なウエットティッシュ用の包装体であって、前記包装体の包装基体の上面部に構成する開閉可能な取り出し口を、前記上面部に一端を止着して剥離停止部を設けた開閉蓋片と、前記開閉蓋片の自由端の近傍に位置させて上面部に形成した切り込み部とにより構成し、前記開閉蓋片を自由端から剥離して前記切り込み部の左右端部と前記剥離停止部との間を、前記合成樹脂製のフィルム材が有する指向性により直線状に切断して取り出し口を開放するように構成し、剥離する開閉蓋片を剥離停止部で止めるようにしたことを特徴とするウエットティッシュ用包装体。

【請求項2】 上面部の切り込み部はフィルム材の指向性に対してほぼ直交する直線状、若しくはコ字状である請求項1に記載のウエットティッシュ用包装体。

【請求項3】 フィルム材は合成樹脂フィルム単体、若しくは表面にアルミ層を形成した2層である請求項1または2のいずれかの項に記載のウエットティッシュ用包装体。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、重合状に折り畳まれた複数枚のウエットティッシュを内部に収納するウエットティッシュ用包装体に関するものである。

【0002】

【従来の技術】周知のように、ウエットティッシュの包装体としては、様々な構造のものが知られている。例えば、特公昭63-22808号公報や特許第2780931号公報に記載されているウエットティッシュ用包装体は、包装体の上面に予め窓穴状、U字状の開口部を形成するとともに、感圧接着剤層を形成した開閉蓋を設け、前記開閉蓋を剥離したり密着させることにより開口部を開閉している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、前記従来のウエットティッシュ包装体では、包装体の素材となるフィルムに予め開口部用の抜き加工をするか、または包装装置においてウエットティッシュの包装過程において開口部を抜き加工することになる。上記した従来の開口部の形成方法では、抜き加工が著しく高精度でなければならず、抜き加工用のカッターの切れ味が悪いと正確に抜き加工できなくて製品の歩留まりが低下するばかりでなく、開閉蓋により開口部を開放しても開口縁が不規則な状態になって商品価値が低下する。しかも、開口部を正確に位置決めしないと、開閉蓋からはみ出すことになる。したがって、本発明はきわめて簡単に取り出し口を形成するようにしたことを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】前記本発明の目的を達成

するために、本発明の請求項1に記載の発明は、合成樹脂製のフィルム材で成形される液密、気密なウエットティッシュ用の包装体であって、前記包装体の包装基体の上面部に構成する開閉可能な取り出し口を、前記上面部に一端を止着して剥離停止部を設けた開閉蓋片と、前記開閉蓋片の自由端の近傍に位置させて上面部に形成した切り込み部とにより構成し、前記開閉蓋片を自由端から剥離して前記切り込み部の左右端部と前記剥離停止部との間を、前記合成樹脂製のフィルム材が有する指向性により直線状に切断して取り出し口を開放するように構成し、剥離する開閉蓋片を剥離停止部で止めるようにしたことを特徴とするウエットティッシュ用包装体に関するものである。

【0005】そして、本発明の請求項2に記載の発明は、上面部の切り込み部はフィルム材の指向性に対してほぼ直交する直線状、若しくはコ字状である請求項1に記載のウエットティッシュ用包装体に関するものである。

【0006】また本願の請求項3に記載の発明は、フィルム材は合成樹脂フィルム単体、若しくは表面にアルミ層を形成した2層である請求項1または2のいずれかの項に記載のウエットティッシュ用包装体に関するものである。

【0007】

【発明の実施の形態】以下に本発明を図面に示す実施の態様に基づいて説明する。図1は本発明の実施例を示す包装基体と開閉蓋片とを分解した状態の斜視図、図2は同上の包装基体の上面部に開閉蓋片を設けた状態の斜視図、図3は開閉蓋片によって取り出し口を開放した状態の斜視図、図4は本発明の第2実施例の分解斜視図、図5は本発明の第3実施例の斜視図である。

【0008】本発明のウエットティッシュ用包装体1は、合成樹脂製の柔軟なフィルム材から成形される液密、気密な容器としての包装基体2からなり、前記合成樹脂製のフィルム材は、合成樹脂高分子の分子配列によって、刃物を使用しないで引っ張り力のみで切断する場合に、直線状となる指向性Sを有するので、この指向性Sを、図1で示すように包装基体2の上面部3において長手方向に設定する。

【0009】そして本発明によれば、前記上面部3の一端部近傍に、前記指向性Sとはほぼ直交する方向、即ち包装基体2の短手方向に沿って直線状に切り込み部4を形成するとともに、前記上面部3に開閉蓋片5を設け、前記切り込み部4と開閉蓋片5とにより、包装基体2の内部に重合させて収納したウエットティッシュの取り出し口6を構成する。前記切り込み部4は、上面部3のフィルム材を切断した全抜きか、若しくはミシン目であり、前記指向性Sに直交する第1線状部分41と、前記第1線状部分41の両端から指向性Sに沿う短い第2線状部分42とからなる。

【0010】前記開閉蓋片5は、片面に感圧接着層7を形成して上面部3に対し繰返し密着状に付着させたり、剥離可能にする。そして、前記開閉蓋片5は、一端に剥離停止部8を設けて上面部3から離脱するのを防止し、先端の自由端に感圧接着層7を形成していない掘み片9を設け、前記切り込み部4を開閉蓋片5の自由端近傍に位置させる。

【0011】前記剥離停止部8は、図面の実施例によれば開閉蓋片5の基端側の左右側縁に形成した螺旋切り込み10として構成されている。

【0012】本発明の包装体1は前記した構成で、内部にウエットティッシュを重合状に収納した包装基体2の上面部3に切り込み部4と開閉蓋片5とが設けてあり、切り込み部4の各第2線状部分42の先端と開閉蓋片5の各螺旋切り込み10との間は、上面部3の素材である合成樹脂フィルムの指向性Sに沿っている。

【0013】このような構成において、前記掘み片9を掘み上げると、開閉蓋片5が自由端から次第に捲り上がって上面部3から剥離し、切り込み部4を通過すると、当該切り込み部4の各端縁から上面部3が樹脂フィルムの指向性に沿って直線状に切断される。そして、前記両切断線で挟まれる部分の切断片11が感圧接着層7に付着し、剥離部分が剥離停止部8にまで達すると、螺旋切り込み10の切り込み方向が開閉蓋片5の剥離方向と逆になるので、開閉蓋片5がそれ以上捲り上がらなくて停止する。

【0014】したがって、上面部3には前記切断片11が開閉蓋片5側に付着することにより開口部12が形成されるので、この開口部12からウエットティッシュを引き出して使用に供することができる。そして、ウエットティッシュの引き出しを終了したら、開閉蓋片5を上面部3に沿うように被着することにより、開口部12を密封することができるので、開口部12を繰返し開放したり気密に密封することができ、内部にウエットティッシュを最後まで使用することができる。

【0015】図4に示す本発明の他の実施例は、切り込み部4を浅いコ字状ではなくて直線状にした態様であって、このような構成であっても、開閉蓋片5を上面部3から剥離すると、切り込み部4から剥離停止部8の螺旋切り込み10までが、フィルムの指向性により直線状に切断して開口部を形成することができる。

【0016】図5に示す本発明の他の実施例は、切り込み部4をU字状にするとともに、剥離停止部8を、開閉蓋片5の端部を上面部3に接着剤で固着して剥離不能な形態にした構成である。このような構成であっても、開閉蓋片5を上面部3から剥離すると、切り込み部4から剥離停止部8までが、フィルムの指向性により直線状に切断して開口部を形成することができ、特に剥離停止部8が、開閉蓋片5が上面部3に固定して構成されているので、開閉蓋片5を強く捲り上げて離脱することがな

い。

【0017】なお、図4、5において、説明していない符号は前記図1から3までの実施例の同一符号と同一の構成であるから、詳細な説明は省略する。

【0018】以上本発明を図面の実施例に基づいて説明したが、本発明は前記実施例に限定されるものではなく、特許請求の範囲に記載の構成を変更しない限りどのようなでも実施することができる。例えば、上面部3を切断の指向性がある合成樹脂フィルムだけで構成してもよいが、指向性がある樹脂フィルムと指向性のないアルミ箔、若しくは紙などの重合シートを使用することもできるし、透明なシート、半透明なシート若しくは不透明なシートを包装基体の原材料として使用することができる。

【0019】

【発明の効果】以上要するに、本発明によれば合成樹脂製のフィルム材で成形される液密、気密なウエットティッシュ用の包装体であって、前記包装体の包装基体の上面部に構成する開閉可能な取り出し口を、前記上面部に一端を止着して剥離停止部を設けた開閉蓋片と、前記開閉蓋片の自由端の近傍に位置させて上面部に形成した切り込み部とにより構成し、前記開閉蓋片を自由端から剥離して前記切り込み部の左右端部と前記剥離停止部との間を、前記合成樹脂製のフィルム材が有する指向性により直線状に切断して取り出し口を開放するように構成し、剥離する開閉蓋片を剥離停止部で止めるようにしたことを特徴とする。

【0020】したがって、包装体の寸法に応じて取り出し口の大きさを変更する場合、従来のように抜き型を交換する手間や経費が不要になって、開閉蓋片の大きさと剥離停止部の位置を調節するだけでよく、しかも取り出し口の加工や精度を著しく軽減できる。また、商品として予め開封されたか否かを、切り込み部と剥離停止部との間を確認するだけできわめて容易に判断することができ、又開閉蓋片を透明、若しくは半透明の樹脂フィルムで成形すると前記開封か否かの確認と、開封時の状態を視覚に訴えることができ、商品価値の高いものとなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例を示す包装基体と開閉蓋片とを分離した状態の斜視図である。

【図2】図1において、開閉蓋片を包装基体の上面部に設けた状態の斜視図である。

【図3】図1において、開閉蓋片を包装基体の上面部から捲り上げた状態の斜視図である。

【図4】本発明の他の実施例の斜視図である。

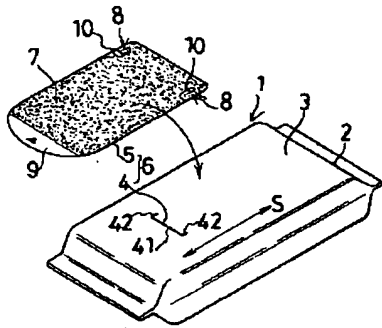
【図5】本発明のさらに他の実施例の斜視図である。

【符号の説明】

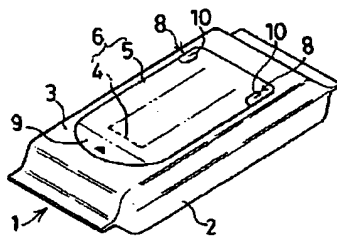
- 1 包装体
- 2 包装基体
- 3 上面部

- |         |           |
|---------|-----------|
| 4 切り込み部 | 9 摺み片     |
| 5 開閉蓋片  | 10 螺旋切り込み |
| 6 取り出し口 | 11 切断片    |
| 7 感圧接着層 | 12 開口部    |
| 8 剥離停止部 |           |

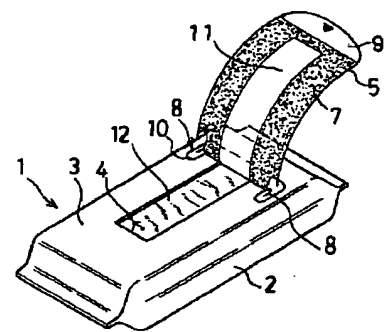
【図1】



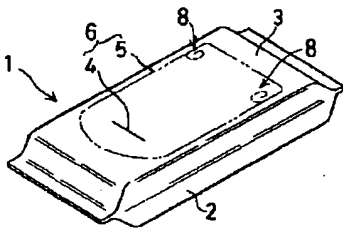
【図2】



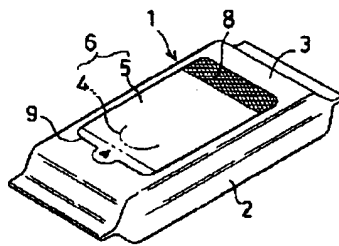
【図3】



【図4】



【図5】



## PACKAGE BODY FOR WET TISSUE

Patent Number: JP2002019858  
Publication date: 2002-01-23  
Inventor(s): MAKAINO KAZUYOSHI  
Applicant(s): DAIICHI SHIKO KK  
Requested Patent: ☐ JP2002019858  
Application Number: JP20000209715 20000711  
Priority Number(s):  
IPC Classification: B65D83/08; A47K7/00  
EC Classification:  
Equivalents:

---

### Abstract

---

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To make a take-out opening in the top face of a package base based on the directivity of a resin film.

**SOLUTION:** A package body 1 for wet tissue is a liquid-tight, air-tight one that is formed of a synthetic resin film. The take-out opening 6, selectively opened or closed, which is made in the top face 3 of the package substrate 2 of the package body 1, includes an opening/closing lid piece 5 attached to the top face 3 at one end to provide a peeling stop portion 8. The take-out opening 6 also includes a cut 4 made in the top near the vicinity of the free end of the lid piece 5. The synthetic resin film is linearly cut based on its directivity between the sidewise end of the cut 4 and the peeling stop portion 8 when the lid piece 5 is peeled from the free end. Thus, the take-out opening is exposed. The peeled lid piece 5 is secured at the peeling stop portion 8.

---

Data supplied from the **esp@cenet** database - I2

• • • • •

42